



平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年12月27日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 篤一
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 中島 孝次 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績 (平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	700,004	13.1	15,554	18.2	18,797	11.8	12,800	9.1
30年2月期第3四半期	618,936	14.2	13,156	29.5	16,809	29.2	11,729	36.7

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 4,057百万円(△82.8%) 30年2月期第3四半期 23,613百万円(33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	1,329.74	—
30年2月期第3四半期	1,218.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第3四半期	527,243	212,991	38.6
30年2月期	502,396	211,153	40.2

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 203,433百万円 30年2月期 201,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	90.00	—	100.00	190.00
31年2月期	—	100.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想 (平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	920,000	8.1	20,000	11.0	23,000	2.6	17,000	12.9	1,765.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	9,720,000株	30年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	31年2月期3Q	93,755株	30年2月期	92,183株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期3Q	9,626,599株	30年2月期3Q	9,627,974株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の貿易摩擦等の影響で先行きの不透明感が高まりましたが、堅調な米国経済を背景に全体として緩やかな成長が持続しました。

日本経済は、自然災害の影響を受けましたが、高水準な製造業の生産活動に加え、好調な企業収益を背景に底堅く推移しました。

このような状況下にあつて、当第3四半期連結累計期間における売上高は、7,000億4百万円で前年同期比13.1%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が471億40百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益が155億54百万円（前年同期比18.2%増）、経常利益が187億97百万円（前年同期比11.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は128億円（前年同期比9.1%増）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、土木・建築及び製造業向けが堅調に推移しました。

特殊鋼部門は、国内外で自動車や建機・工作機械等の生産が堅調に推移し、数量も増加しました。

海外は、鋼材価格の上昇に加え、東南アジア向けが増加しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、2,894億92百万円（前年同期比12.8%増）となり、順調でした。

(情報・電機)

非鉄金属部門は、自動車関連が国内及び中国で増加しました。

エレクトロニクス部門は、車載用電子部品及びFA・IT関連機器などの分野で増加しました。

情報・電機セグメントの売上高は、1,439億30百万円（前年同期比6.1%増）となり、順調でした。

(産業資材)

化成品部門は、原材料価格の上昇に加え、自動車関連向けが増加しました。

メカトロ部門は、航空機向けをはじめ、設備機械や部品・工具が大幅に増加しました。

産業資材セグメントの売上高は、2,206億69百万円（前年同期比19.2%増）となり、好調でした。

(生活産業)

配管建設部門は、配管機材類及び建築物の請負工事が底堅く推移しました。

食品部門は、水産物の輸入及び量販店向け鶏肉加工品等が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、459億11百万円（前年同期比11.0%増）となり、順調でした。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,272億43百万円となり、保有株式の時価下落に伴う投資有価証券評価額の減少はありましたが、売上債権の増加などにより前連結会計年度末に比べて248億47百万円増加しました。

負債は3,142億51百万円となり、仕入債務の増加などにより前連結会計年度末に比べて230億9百万円増加しました。

純資産は2,129億91百万円となり、その他有価証券評価差額金の減少はありましたが、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて18億38百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成30年3月30日発表の予想数値を据置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,484	15,088
受取手形及び売掛金	186,782	205,231
電子記録債権	29,223	32,209
商品及び製品	50,632	59,232
仕掛品	3,739	7,805
原材料及び貯蔵品	1,482	1,680
その他	11,069	14,311
貸倒引当金	△598	△663
流動資産合計	295,816	334,896
固定資産		
有形固定資産	38,897	37,842
無形固定資産	1,267	1,158
投資その他の資産		
投資有価証券	143,198	129,508
その他	23,496	24,113
貸倒引当金	△279	△275
投資その他の資産合計	166,415	153,346
固定資産合計	206,580	192,346
資産合計	502,396	527,243

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,769	112,974
電子記録債務	17,557	19,672
短期借入金	104,721	108,649
未払法人税等	3,022	2,022
賞与引当金	1,296	2,451
その他	11,783	16,944
流動負債合計	239,150	262,715
固定負債		
長期借入金	11,698	14,743
繰延税金負債	34,337	30,486
役員退職慰労引当金	778	872
退職給付に係る負債	1,814	1,945
その他	3,463	3,488
固定負債合計	52,092	51,536
負債合計	291,242	314,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	114,674	125,549
自己株式	△457	△463
株主資本合計	131,144	142,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,088	56,636
繰延ヘッジ損益	△180	190
為替換算調整勘定	608	519
退職給付に係る調整累計額	4,199	4,075
その他の包括利益累計額合計	70,716	61,421
非支配株主持分	9,293	9,558
純資産合計	211,153	212,991
負債純資産合計	502,396	527,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	618,936	700,004
売上原価	575,493	652,863
売上総利益	43,443	47,140
販売費及び一般管理費	30,286	31,586
営業利益	13,156	15,554
営業外収益		
受取利息	1,036	1,129
受取配当金	2,772	2,963
持分法による投資利益	819	638
その他	511	646
営業外収益合計	5,140	5,377
営業外費用		
支払利息	1,210	1,463
手形売却損	15	15
その他	261	655
営業外費用合計	1,486	2,133
経常利益	16,809	18,797
特別利益		
固定資産売却益	14	17
投資有価証券売却益	0	4
特別利益合計	14	22
特別損失		
固定資産処分損	15	7
投資有価証券評価損	22	—
退職給付費用	47	—
その他	0	0
特別損失合計	86	7
税金等調整前四半期純利益	16,738	18,812
法人税、住民税及び事業税	5,083	5,377
法人税等調整額	△650	28
法人税等合計	4,432	5,405
四半期純利益	12,306	13,406
非支配株主に帰属する四半期純利益	576	606
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,729	12,800

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	12,306	13,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,255	△9,505
繰延ヘッジ損益	30	371
為替換算調整勘定	411	△19
退職給付に係る調整額	412	△124
持分法適用会社に対する持分相当額	196	△71
その他の包括利益合計	11,306	△9,349
四半期包括利益	23,613	4,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,960	3,505
非支配株主に係る四半期包括利益	652	551

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	256,723	135,670	185,177	41,365	618,936	—	618,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	712	1,454	409	1,164	3,740	△3,740	—
計	257,435	137,124	185,586	42,530	622,677	△3,740	618,936
セグメント利益	4,346	3,123	4,822	1,576	13,868	△712	13,156

(注)1. セグメント利益の調整額△712百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	289,492	143,930	220,669	45,911	700,004	—	700,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	767	1,371	576	1,091	3,807	△3,807	—
計	290,259	145,302	221,246	47,003	703,812	△3,807	700,004
セグメント利益	4,359	3,078	6,322	1,824	15,584	△30	15,554

(注)1. セグメント利益の調整額△30百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。